

～三種混合ワクチン接種を就学前に～



◎百日咳

全国的に百日咳が流行しています。WHO のスケジュールは、0 歳で 3 回、1 年後に 4 回目（この時点で百日咳菌に対する抗体価が上昇しますが）、5-6 歳時（抗体価が 30%以下にさがるため）5 回目のワクチン接種をすすめています。先進国では 5 回目も定期接種となっていますが、日本では残念ながらまだ定期化されていません。そのため、年長児～小・中高生・成人の間で百日咳が流行しやすい状況が続いています。百日咳にかかると、読んで字のごとく、長期間激しい咳き込みが続き、感染力も強いです。早期に適切な抗菌薬を服用することで治りますが、四種混合ワクチン接種がまだ終わっていない（または未接種の）乳児が感染すると、無呼吸、肺炎、呼吸困難をおこし、命にかかわることがあります。小さな赤ちゃんを守るためにも、自分がかからないためにも小学校入学前（年長の間）に三種混合ワクチン（任意）接種をおすすめします。VPD（ワクチンで防げる病気）の会・日本小児科学会も 2018 年夏より推奨しはじめました。

＊年長の間接種する MR ワクチンⅡ期（定期接種）と同時接種も可能です。

下記ホームページ（VPD を知って、子どもを守ろうの会）もご参照ください。
<http://www.know-vpd.jp/news/2188.php>